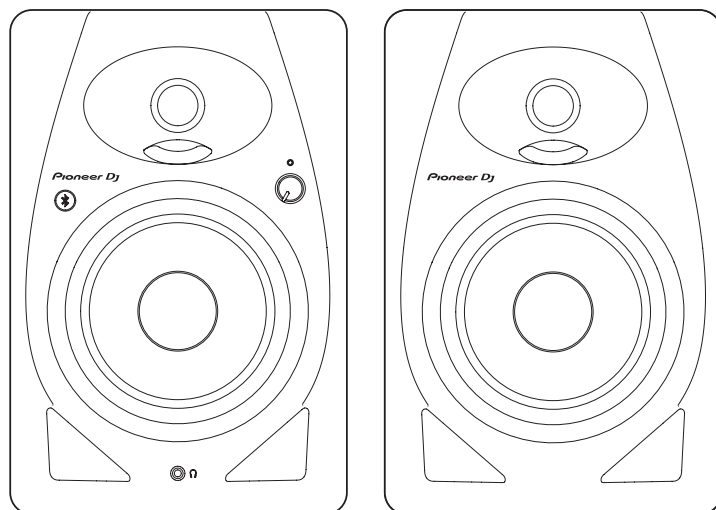




DM-50D-BT / DM-50D-BT-W

アクティブモニタースピーカー

pioneerdj.com/support/

上記のサイトで、本製品のFAQなどのサポート情報をご覧ください。

はじめに

本書の見かた

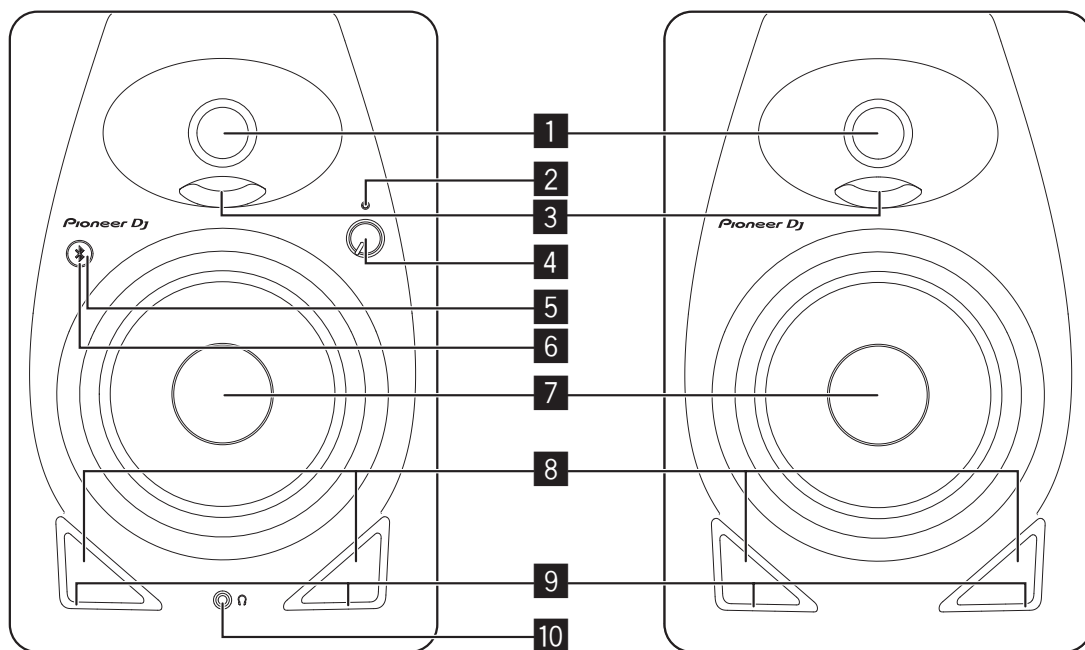
このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本書と、本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。

付属品を確認する

- ・ 電源コード × 1
- ・ オーディオ変換ケーブル (3.5 mm ステレオミニプラグー RCA) × 1
- ・ スピーカーコード × 1
- ・ ボトムクッション × 2 (4 個 / 1 枚)
- ・ クイックスタートガイド × 1
- ・ 使用上のご注意 × 1
- ・ 日本国内用保証書 (使用上のご注意に記載)

各部の名称

本体前面部



1 3/4 インチソフトドームトゥイーター

2 POWER インジケーター

電源のオン / オフに連動して点灯します。スタンバイ時は消灯します。

3 ディフューザー

高音域の指向性を改善し、広がり感を実現します。

4 LEVEL ツマミ

音量を調整します。

5 ペアリングボタン

Bluetooth 機器とのペアリング操作をします。
また、Bluetooth での楽曲再生中は、一時停止 / 再生操作ができます。
詳細は「Bluetooth 機器の音楽を聴く」(5 ページ)を参照してください。

6 ペアリングインジケーター (5 ページ)

点滅時：ペアリング操作および接続待ち状態
点灯時：Bluetooth 機器と接続されている状態

7 5 インチグラスファイバーウーファー

8 バスレフダクト

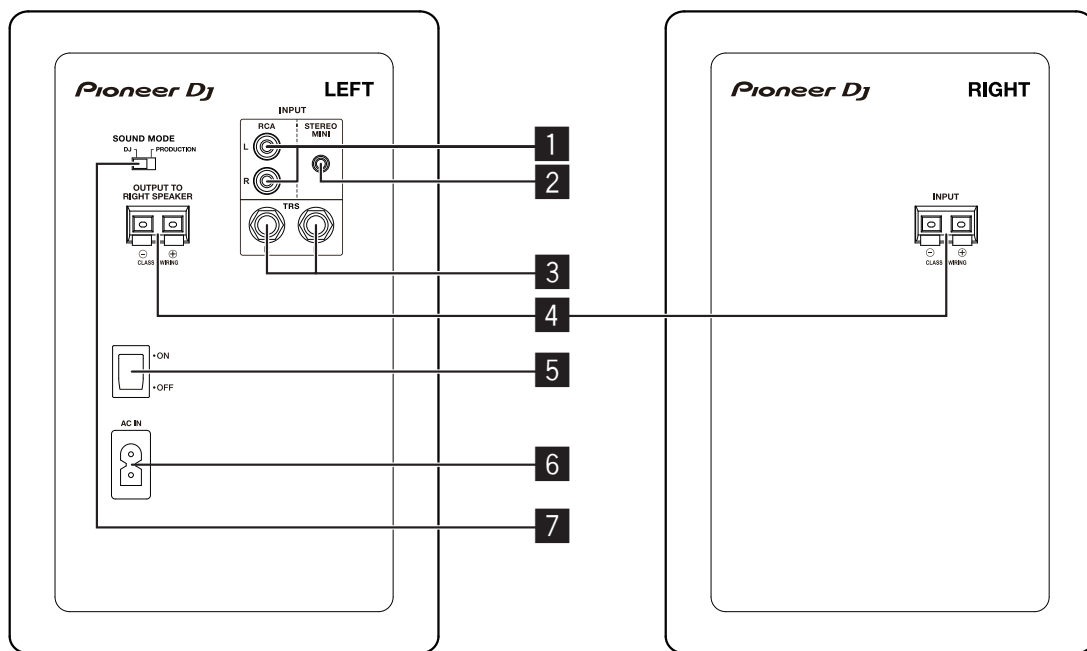
9 グループ

バスレフダクトの空気の流れを整え低域音をスムーズに放射します。

10 ヘッドフォン端子

3.5 mm ステレオミニプラグタイプの出力端子です。
ヘッドフォンを接続すると、スピーカーから出る音が
ミュートされてヘッドフォンからだけ音が出力されます。

本体背面部



1 RCA INPUT 端子

RCA ピンタイプのアンバランス型入力端子です。

2 STEREO MINI INPUT 端子

3.5 mm ステレオミニプラグタイプのアンバランス型入力端子です。

3 TRS INPUT 端子

1/4" フォーンタイプのバランス型入力端子です。

4 スピーカー接続コネクタ

付属のコードを使って、左右のスピーカーを接続してください。
本スピーカーを本システム以外のアンプに接続して使用しないでください。故障・火災の原因となることがあります。

5 POWER スイッチ

本機の電源をオン / オフします。

6 AC IN

電源コードを接続してコンセントに接続します。
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の電源コードをご使用ください。

7 SOUND MODE 切り替えスイッチ

DJ Mode と PRODUCTION Mode を切り替えます。
DJ Mode: パンチのあるサウンドで DJ 用に適しています。
PRODUCTION Mode: 入力音を忠実に再生するフラットな周波数特性です。

注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

注意

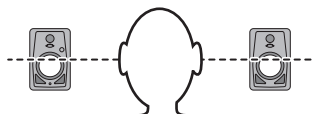
- ・この製品にはオートスタンバイ機能が内蔵されております。
Bluetooth 接続中に問わず、ご使用中に無音状態が一定時間（約 20 分）継続しますと自動的に POWER インジケータが消灯して低消費電力のスタンバイ状態になります。
- ・Bluetooth 接続中にスタンバイ状態になると、Bluetooth の接続は解除され、ペアリングインジケータも消灯します。
- ・スタンバイ状態で入力端子から音声信号の入力があると自動的に電源オン状態になります。また、スタンバイ中に Bluetooth ペアリングボタンを押した場合も電源オン状態になります。
- ・オートスタンバイ機能は解除することはできません。

設置と接続

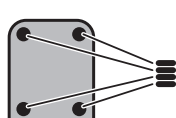
設置方法

スピーカーの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙な影響を受けやすいものです。最適な状態でご使用いただくために、スピーカーを取り付ける前に設置場所を十分検討してください。

- スピーカーは耳の高さに設置してください。
- 左右のスピーカーは、視聴位置に対して等距離で左右対称になるように設置すると自然なステレオ感が得られます。

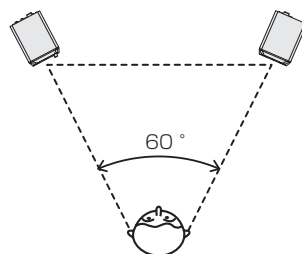


- すべり防止のため、付属のクッションを本体の底面に貼ってください。



幼児の手の届くところに小さな部品を置かない。
万一飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

- スピーカーは視聴位置から左右に 30°、計 60°の開き角となる位置に設置し、内側に向けてください。



注意

本機を設置する場合は、放熱を良くするため他の機器や壁などから十分な間隔をとってください（天面 15 cm 以上、後面 15 cm 以上、右側、左側各 15 cm 以上）。本機と壁および他の機器との間隔がとれないと、内部に熱がこもり、性能不良や故障の原因になります。

接続する

- 機器の接続を行う場合、または変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
- 必ず付属の電源コードをお使いください。
- [RCA]、[STEREO MINI]、[TRS] 入力端子の入力信号および Bluetooth からの入力信号はミックスされますので、音量にご注意ください。

コードの接続

付属のスピーカーコードをスピーカーに接続します。

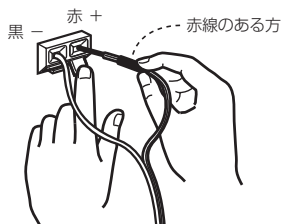
- 1 付属のスピーカーコードの先端の約 1 cm 剥ぎ取られた絶縁体をねじりながら取り除く
取り除いたあと、芯線をしっかりねじります。



- 2 LEFT 側と RIGHT 側のスピーカー端子に付属のスピーカーコードを接続する

- 3 スピーカー端子のツメを押しながら芯線を端子に挿し込む

スピーカーコードはスピーカーコードの赤線のある方を端子の+側（赤）に、赤線のない方を一側（黒）に接続します。



注意

- 端子に接続したあとスピーカーコードを軽く引いて、スピーカーコードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- スピーカーコードを接続するときは、芯線をしっかりねじり、スピーカー端子からはみ出していないことを確認してください。芯線がはみ出して、リアパネルに接触したり、芯線どうしが接触するとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- LEFT 側と RIGHT 側スピーカー端子を接続時、LEFT 側と RIGHT 側の極性（+、-）を間違えてつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

本スピーカーでは *Bluetooth* 機器に保存された楽曲をワイヤレスでお楽しみいただけます。

本スピーカーを初めて使用する場合、または新しい *Bluetooth* 機器を本スピーカーに接続する場合は、本スピーカーと *Bluetooth* 機器をペアリングする必要があります。

ペアリング（機器相互登録）とは、*Bluetooth* 機器と本機を接続するために必要な操作です。

ペアリングと接続方法

1 POWER スイッチを ON にして本スピーカーの電源を入れる

- *Bluetooth* インジケータが約 30 秒点滅しペアリング状態になります。
- *Bluetooth* インジケータが消灯している場合は、ペアリングボタンを 2 秒以上押して再度ペアリング状態にしてください。

2 *Bluetooth* 機器側でペアリング操作を行う

本スピーカーがペアリング状態の間に操作を行ってください。

詳しくは、お使いの *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください。

3 *Bluetooth* インジケータが点滅から点灯状態に変わればペアリング（接続）完了です

30 秒以内にペアリングできなかった場合、*Bluetooth* インジケータは点滅から消灯になります。

- すでにペアリング済みの *Bluetooth* 機器は、本機の電源 ON の状態であれば、*Bluetooth* 機器側の接続操作で接続できます。

再生

接続している *Bluetooth* 機器で音楽を再生すると、本スピーカーから *Bluetooth* 機器で再生している音楽を出力します。

- *Bluetooth* 機器の音楽再生中にペアリングボタンを押すと、一時停止 / 再生操作できます（*Bluetooth* 機器の一時停止 / 再生ボタンと同じ機能）。



注意

- ペアリング（接続）する時は、*Bluetooth* 機器を本スピーカーに近づけてください。
- 接続完了後、初回再生操作時に、大音量で出力されることがありますので、再生前に音量を下げておくことをおすすめします。
- 使用するアプリケーションによって、ペアリングボタンで一時停止 / 再生操作ができない場合があります。
- *Bluetooth* 機器によっては、本スピーカーと接続できない場合があります。
- 別の *Bluetooth* 機器とペアリングしたい場合、現在接続中の *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* 機能をオフまたは接続を切断してから、ペアリング操作を行ってください。
- 本機は最大 8 台までのペアリング情報を記憶し、*Bluetooth* 機器と未接続の状態ではペアリングボタンを押すと、最後にペアリングした *Bluetooth* 機器に接続しようとします。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目および、Pioneer DJ サポートページから [DM-50D-BT] の [よくある質問 (FAQ)] を確認してください。

pioneerdj.com/support/

- ・ 本機と接続している機器も確認してください。

- ・ 電源を入れなおすと正常に動作することがあります。

それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせ ください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードをコンセントへ接続してください。
接続している機器の 音が出ない、または音が小さい。	接続している機器は正しく設定されていますか？	機器の外部入力や音量を正しく設定してください。
	音量が正しい位置に設定されていますか？	本体前面部の [LEVEL] ツマミを右に回して、音量を上げてください。
	電源がオンになっていますか？	本体背面部の [POWER] スイッチをオンにしてください。
POWER インジケーター (白色) が点灯しない。	電源がオンになっていますか？	本体背面部の [POWER] スイッチをオンにしてください。
	スタンバイ状態になっていませんか？	本体背面部の [POWER] スイッチを一旦オフにして、数秒後にオンにしてください。または本体前面部のペアリングボタンを押してください。
スタンバイ状態から復帰 (電源オン) しない。	入力信号のレベルが低くありませんか？	入力信号のレベルを大きくしてください。
音が歪む。	音量が正しい位置に設定されていますか？	本体前面部の [LEVEL] ツマミを左に回して、音量を下げてください。
	接続している機器からの入力レベルは適切ですか？	接続している機器の出力レベルを正しく調整してください。
発振 (大きな音が連続的に出る) する。	音量が正しい位置に設定されていますか？	本体前面部の [LEVEL] ツマミを左に回して、音量を下げてください。
左側のスピーカーからしか音が出ない。	スピーカーコードは接続されていますか？	左右のスピーカーを正しく接続してください。
電源が自動的にオフ (スタンバイ状態) になる。	無音状態が一定時間 (約 20 分) 以上継続していませんか？	RCA または TRS またはステレオミニプラグ入力端子から信号を入力してください。または本体前面部のペアリングボタンを押してください。
	入力信号のレベルが低くありませんか？	入力信号のレベルを大きくしてください。

[RCA]、[STEREO MINI]、[TRS] の入力端子で接続時

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
接続している機器の 音が出ない、または音が小さい。	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
片側のスピーカーからしか音が出ない。	機器を正しく接続していますか？	L と R 両方の入力端子に機器を接続してください。
音が途切れたり、雑音がする。	接続ケーブルが接触不良になっていませんか？	接続ケーブルを接続し直してください。

Bluetooth 接続時

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
接続できない、あるいは、音が途切れたり、雑音がする。	2.4 GHz 帯の電磁波を発する機器（電子レンジ、無線 LAN、他の Bluetooth 機器など）が近くにありませんか？	これらの機器から本機を離して設置するか、電磁波を発する他の機器の使用をお止めください。
	Bluetooth 機器との距離が離れすぎていませんか？あるいは、間が壁や障害物等でさえぎられていませんか？	本機と接続している Bluetooth 機器を近づけてください。また、Bluetooth 機器や本機の位置を変えてください。
	Bluetooth 機器で音楽再生以外のアプリケーションが動作していませんか？	Bluetooth 機器の音楽再生以外のアプリケーションの動作を止めてください。
	接続したい Bluetooth 機器は A2DP に対応していますか？	A2DP に対応した Bluetooth 機器を使用してください。
	Bluetooth 機器とのペアリングが正しく行われていますか？	本機と Bluetooth 機器の電源を一度切り、再び電源を入れて、再度ペアリングの操作を行ってください。

商標および登録商標について

- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、AlphaTheta 株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- Qualcomm aptX は、Qualcomm Technologies, Inc. および／またはその子会社の製品です。Qualcomm は、Qualcomm Incorporated の米国ならびに他の国における登録商標です。aptX は、Qualcomm Technologies International, Ltd. の米国ならびに他の国における登録商標です。
- その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

仕様

形式	2 ウェイアクティブスピーカー
アンプ部	
アンプタイプ	DSP 搭載 Class D
アンプ出力	Lch : 25 W / 4 Ω、Rch : 25 W / 4 Ω
入力端子 (バランス入力)	1/4" TRS ジャック × 1
入力端子 (アンバランス入力)	RCA ピンジャック × 1、3.5 mm ステレオミニジャック × 1
入力インピーダンス	10 kΩ
出力端子	3.5 mm ステレオミニジャック × 1
スピーカー部	
エンクロージャー	バスレフ型
エンクロージャー材質	MDF ビニールラミネート
ウーファー (LF ドライバー)	5 インチ (127 mm) コーン
ツイーター (HF ドライバー)	3/4 インチ (19 mm) ソフトドーム
Bluetooth	
バージョン	Bluetooth 標準規格 Ver. 5.0
最大通信距離	見通しの良い状態で約 10 m*
使用周波数帯域	2.4 GHz 帯
変調方式	FH-SS (周波数ホッピングスペクトラム拡散方式)
対応 Bluetooth プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC、AAC、Qualcomm® aptX™、Qualcomm® aptX™ Low Latency
電源部・その他	
対応電圧	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力	25 W
待機時消費電力 (スタンバイ状態)	0.2 W
パワーオフモード時の消費電力	0.0 W
最大外形寸法外径寸法	(W × H × D) Lch : 175 × 262 × 257 mm、Rch : 175 × 262 × 247 mm
質量	Lch : 3.9 kg、Rch : 3.5 kg

- * 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
- ・ 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

AlphaTheta Corporation

6F, Yokohama i-Mark Place, 4-4-5 Minatomirai, Nishi-ku, Yokohama, Kanagawa 220-0012 JAPAN / JAPON

AlphaTheta株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番5号 横浜アイマークプレイス6階